

平成25年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:平成25年4月1日～平成26年3月31日

施設名	大和市郷土民家園
指定管理者	公益財団法人スポーツ・よか・みどり財団
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

●施設の総括管理及び庶務

管理運営体制	常時2名
開園状況	毎週月曜日(休日の場合翌日)及び年末年始(12/29～1/3)を除く毎日
開園時間	午前9時～午後4時30分(7/21～8/31は午後5時まで)

●施設の利用受付及び庶務

◎年間利用者数

カウンター集計による利用者数…49,325人

記帳集計による利用者数…31,424人

(記帳集計内訳)

区分	市内	市外	県外	合計
一般	15,845人	14,145人	1,434人	31,424人

◎小中学校等の施設利用

小中学校…市内14校、市外13校、計27校

◎施設利用者に対する歴史説明

来園者の要望に応じて、大和の歴史(古民家・農耕・養蚕)等の説明を実施。

●園内清掃及び環境整備、簡易な修繕

園内清掃	定期園内清掃(開園日の午後実施)
施設内清掃	旧北島家・旧小川家両施設の清掃(開園日の午前実施)。茅葺屋根等防虫のため両施設を燻蒸(一日交代)。
植物管理	除草、草刈、畑管理、高木・低木剪定、生垣剪定等を実施(毎月)。
簡易修繕	園内柵、旧北島家カマド、民具(唐箕)などの簡易修繕 28件
民具作製	竹とんぼ・お手玉・ブンブンごま等を適宜作製
巡回・警備	開園時間中常時1名巡回警備。閉園時間中は機械警備を実施。
消防訓練	文化財防火デー(1/26)にちなみ1/24に実施。

●文化財調査報告書の紹介

教育委員会発行の文化財調査報告書を民家園内にて展示紹介した。

●事業の実施

◎自主事業

	事業名	開催日	参加人数
1	民家園で端午の節供	5/5	5/5 1017人
		5/6	5/6 648人
2	七夕の調べ ※箏の調べとともにお話の世界へ同時開催	7/6	7/6 318人
		7/7	7/7 234人
3	カイコを知ろう	7/21	14組/33人
4	親子で作る竹のおもちゃ	8/4	14組/31人
5	十五夜団子を作ろう	9/16	台風で中止
6	古民家でお月見 ※箏のしらべとともにお話の世界へ同時開催	9/19	426人
7	民家園の秋まつり	11/3	729人
8	箏のしらべとともにお話の世界へ	11/4	雨天中止
9	紙芝居講演「ヨーカゾー」	12/8	31人
10	正月飾りを作ろう	12/23	20組/24人
11	初春の七草粥	1/7	117人
12	味噌作り ※2/15は大雪のため中止	2/15	2/15(中止)
		2/16	2/16 19人
13	箏のしらべとともにお話の世界へ	3/1	6人
14	民家園の春まつり	3/9	857人

◎市内3館合同企画展示

	企画展名	開催日
1	市内3館合同企画展 「古民家でお正月～市内3館古民家めぐり～」	1/4～1/19
2	市内3館合同企画展 「古民家でひな祭り～市内3館古民家めぐり～」	2/22～3/9

◎年中行事(展示)

	事業名	展示期間
1	端午の節供展示	4/20～5/6
2	七夕飾り展示	7/2～7/7
3	カイコの飼育展示	7/23～8/11
4	お盆展示	8/10～8/16
5	十五夜団子飾り展示	9/15～9/20

6	十三夜団子飾り展示	10/12～10/17
7	ヨーカゾーの目カゴ飾り展示	12/3～12/8 2/4～2/8
8	正月飾り展示	12/25～1/7
9	春の七草展示	12/25～1/7
10	繭玉団子飾り展示	1/10～1/13
11	お雛様飾り展示	2/11～3/9

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額)	8,171,000	人件費 (給料手当、臨時雇賃金、福利厚生費)	5,932,465
その他収入 (事業参加料・民家園販売上等)	365,665	事業費 (会議費、消耗品費、諸謝金)	244,367
		光熱水料費 (電気料、水道料)	303,936
		施設管理費 (通信運搬費、消耗品費、修繕費、燃料費、賃借料、保険料、租税公課、負担金、委託費)	1,940,369
収入計 (①)	8,536,665	支出計 (②)	8,421,137

収支決算	115,528
------	---------

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市（注：教育委員会所管部は教育委員会）の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成26年7月30日に文化財保護審議会からの意見聴取を行いました。

評価の視点1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか
<ul style="list-style-type: none">●施設の利用許可事務については、条例などに則り適切に行われている。●無料参加型行事の実施や、見学者向けワークシートの作成など施設の平等利用及びサービスの向上に努めている。
評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか
<ul style="list-style-type: none">●規定の年中行事のほか、自主事業として、旧北島家で行われていた養蚕を題材にした講座や味噌作りなどの昔の暮らしを体験できる催し、園の雰囲気を活かした人形浄瑠璃上演や演奏会、郷土民家園オリジナル商品の販売など、特色を生かした多様な事業を行っている。●ボランティアの協力や地域の団体との連携事業にも積極的に取り組んでおり、地元根付いた事業を展開している。また、つる舞の里歴史資料館や下鶴間ふるさと館との合同企画展にも参加するなど、市内の文化財普及啓発活動にも取り組んでいる。●H23.3月の震災以後減少していた来園者数は、H24年度に記帳来場者数が若干回復したが、H25年度に再び減少しているため、来園者数の回復・増加に向けた取り組みが必要である。
評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が図られたか
<ul style="list-style-type: none">●各種点検等は仕様書等に沿って漏れなく実施されている。施設の清掃や植物の管理及び施設の補修も適切に行われた。
評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか
<ul style="list-style-type: none">●学芸員の有資格者を計画的に配置し、施設の管理を適切に行う体制を整えている。●施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断している。●配置学芸員の更なる能力向上のため、専門研修や他館園の見学・交流等の実施が必要である。